

CORONA

自然冷媒CO₂家庭用ヒートポンプ給湯機

エコキュート

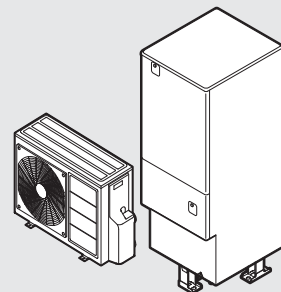


取扱説明書 仕様編

1 缶式 給湯専用タイプ

		システム形式	貯湯ユニット	ヒートポンプユニット
一般地 向け	370L	シー エイチ ビー エヌ エックス CHP-37NX1	シー ティー ユー エヌ エックス CTU-37NX1	シー エイチ ビー CHP-4513
	460L	シー エイチ ビー エヌ エックス CHP-46NX1	シー ティー ユー エヌ エックス CTU-46NX1	シー エイチ ビー CHP-6013
一般地向け 耐重塩害 仕様	370L	シー エイチ ビー エヌ エックス ジェイジェイ CHP-37NX1JJ	シー ティー ユー エヌ エックス ジェイ CTU-37NX1J	シー エイチ ビー ジェイ CHP-4513J
	460L	シー エイチ ビー エヌ エックス ジェイジェイ CHP-46NX1JJ	シー ティー ユー エヌ エックス ジェイ CTU-46NX1J	シー エイチ ビー ジェイ CHP-6013J

リモコン	アール・エム・ビー イー・エヌ RMP-EN13
------	------------------------------------



もくじ

製品構成と各部のなまえ	1
冬期の凍結予防について	3
長期間お湯を使用しないとき	4
次にご使用になるとき	6
非常用取水栓の使い方	7
停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき	8
貯湯ユニットのお手入れと日常点検	9
仕様	11
定期点検（有料）	13
保証とアフターサービス	14

別冊の「取扱説明書 操作編」をご覧ください。

はじめに

安全上のご注意
据え付け・ご使用にあたってのお願い
リモコン各部の名前とはたらき など

給湯とおふろの使い方

お湯・シャワーを使う
お湯がたりないとき
おふろにお湯をはる など

メニュー設定と便利な使い方

メニューの種類と設定方法
運転モードの変更
数日間お湯を使用しないとき など

このようなときは

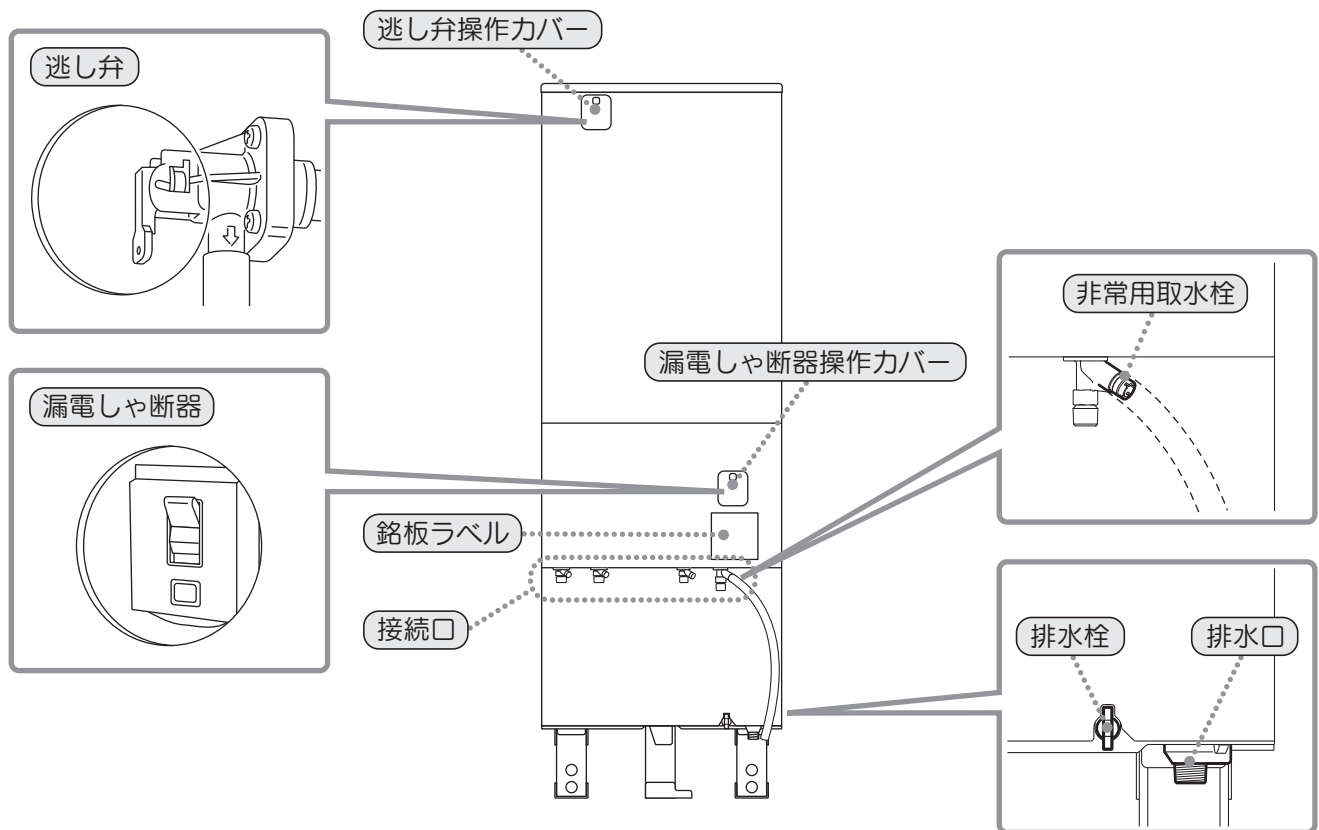
リモコンのお手入れと日常点検
故障かなと思ったら
よくあるご質問 など

- このたびは、自然冷媒CO₂家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
そのあとは、別冊の「取扱説明書 操作編」、「保証書」と一緒に必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。
- お買い上げの機種の種類は、「保証書」の表示または貯湯ユニットの銘板ラベルをご確認ください。

株式会社 **コロナ**

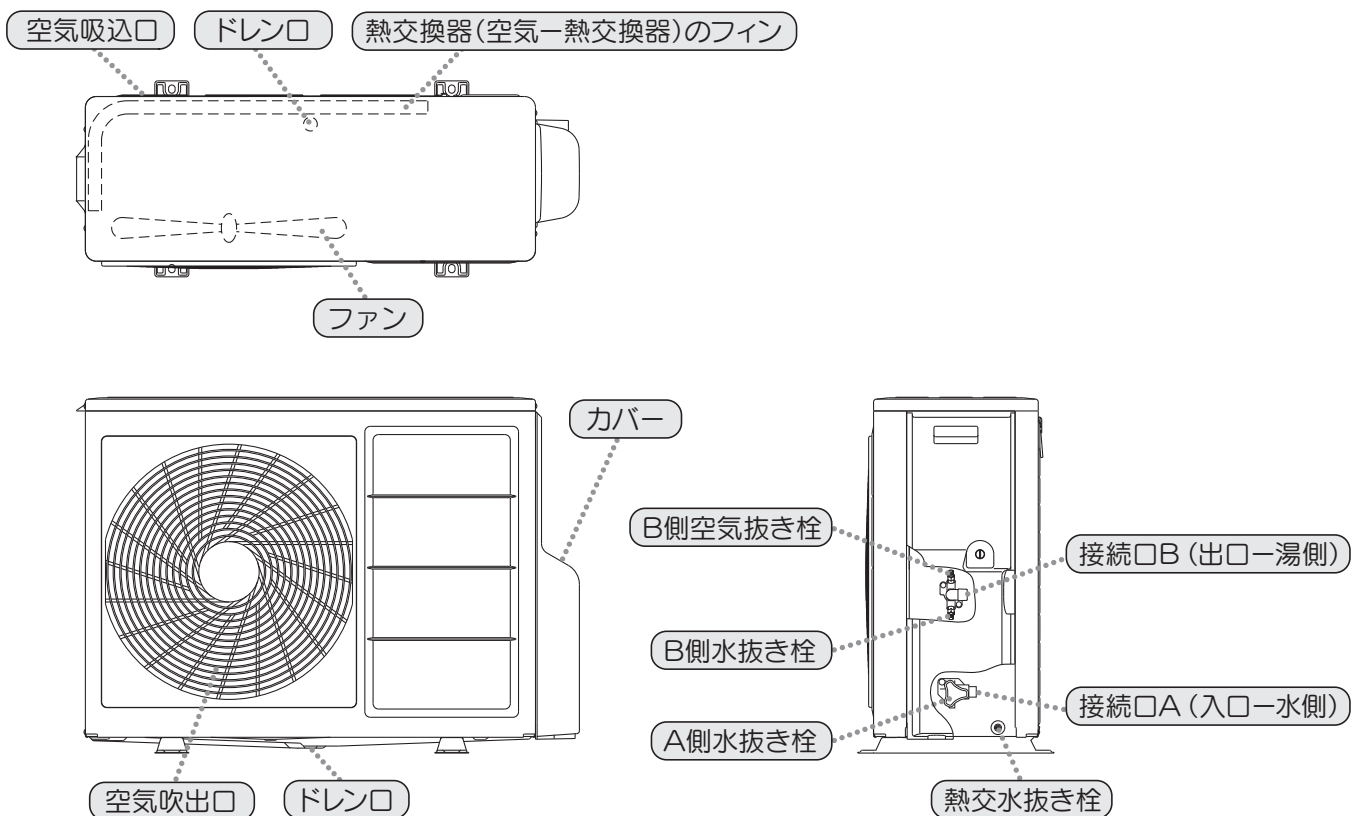
製品構成と各部のなまえ

貯湯ユニット



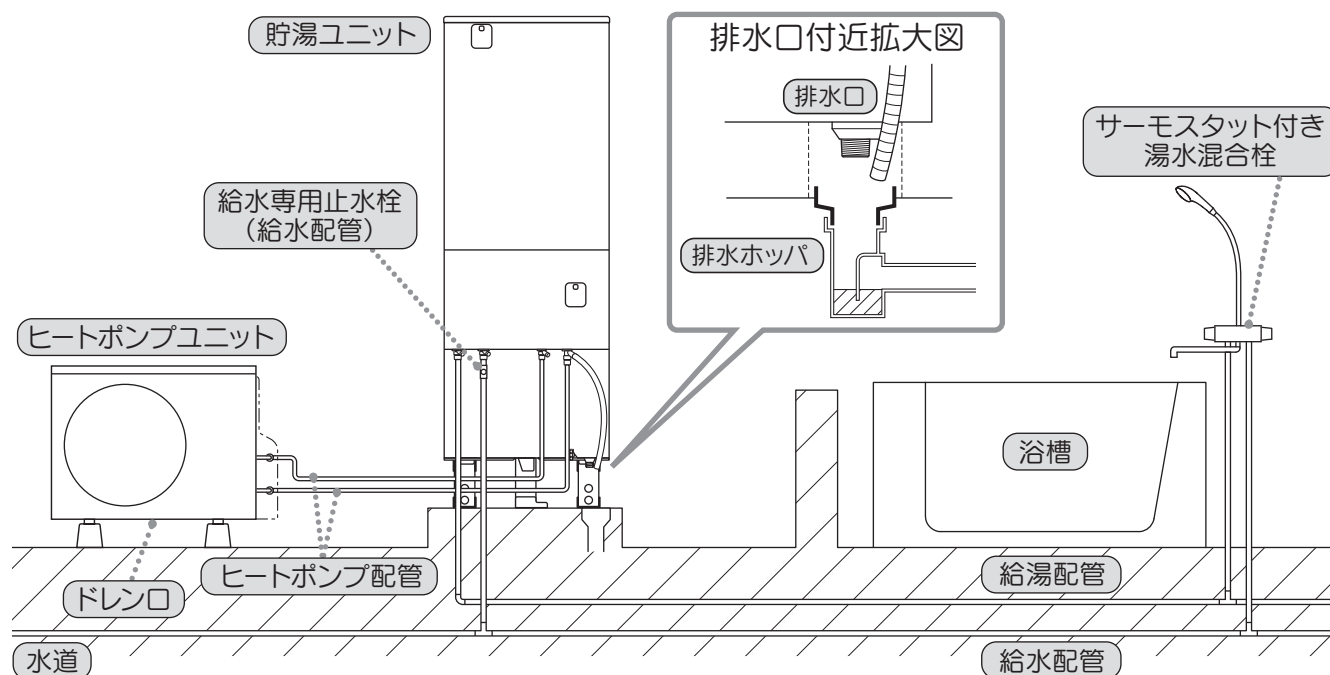
※上記のイラストは、370Lタイプです。
機種により、接続口および脚の形状が異なります。

ヒートポンプユニット



製品構成と各部のなまえ

接続配管例



お知らせ

- 沸上げ運転中および沸上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンク内の水の温度が上昇したときの膨張分が、貯湯ユニットの排水口から出ます。
- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

お願い

- 水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合は、逃し弁よりお湯が排水される場合があります。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。

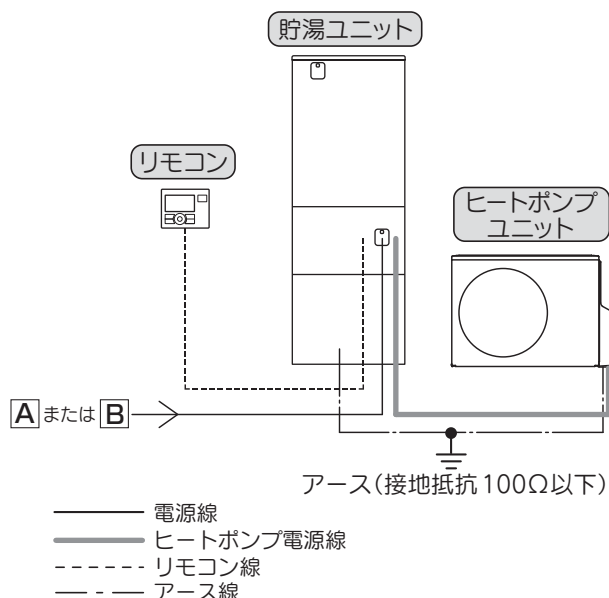
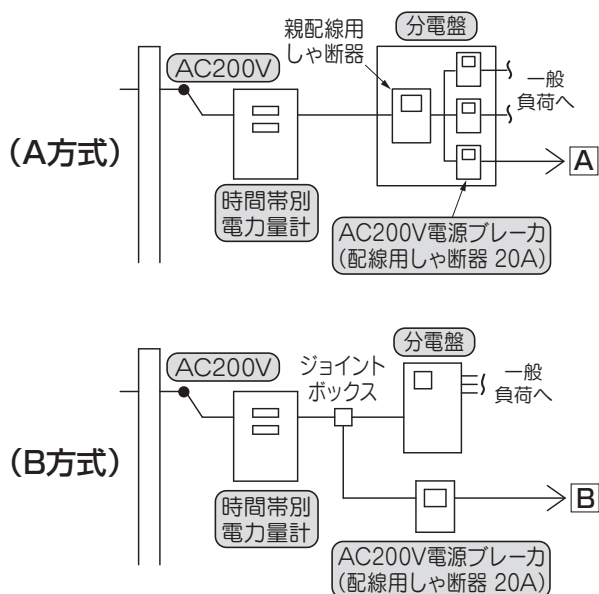
接続配線例

(時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用)

- 引込み配線方式には、A方式とB方式があります。適合する配線方式は、電力会社、機器により異なる場合がありますので、地域の電力会社へ確認してください。

警告

- アース工事がされていることを確認する
故障や漏電のときに感電の原因となります。
販売店(工事店)にご確認ください。

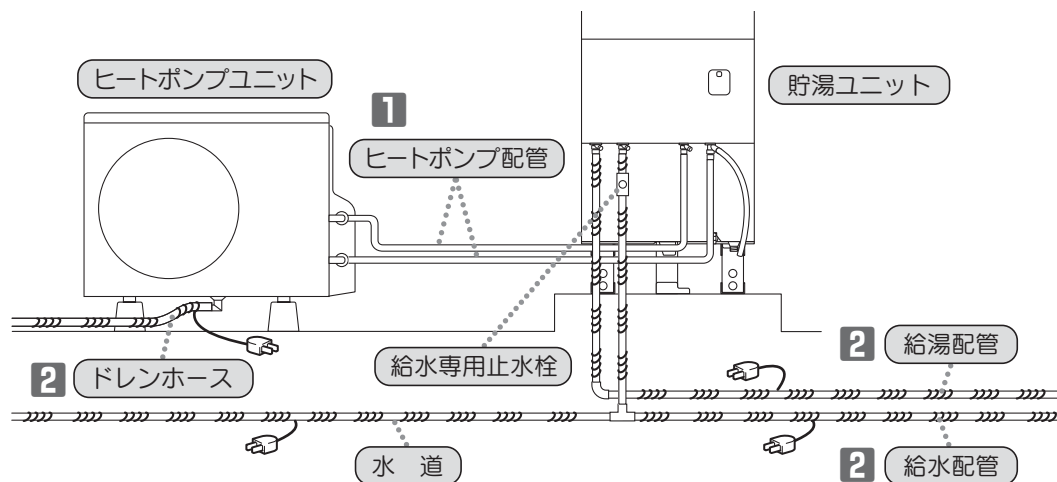


冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

⚠ 注意

- 凍結のおそれがあるときは、電源を切らない
配管が凍結し、水漏れの原因になることがあります。
- 配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなど凍結防止対策を確認する
正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。
販売店（工事店）にご確認ください。



ヒートポンプ配管の凍結予防

1 電源を入れたままにしておく

- 外気温が約3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

凍結防止ヒータ（その他配管の凍結予防）

2 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込む。

- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

不凍結水栓により給水・給湯配管の凍結予防をおこなう場合

⚠ 警告

- お湯を使うときは、お湯の温度を確認する
入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因となります。

— 不凍結水栓をご使用になる地域のお客様へ —

- 不凍結水栓で水抜きをした翌日の給湯は、給水・給湯配管の水が抜けているため、お湯・シャワーが一時的に途切れたり、湯温が変動する場合があります。

長期間お湯を使用しないとき

水抜きをする（16日間以上使用しないとき）

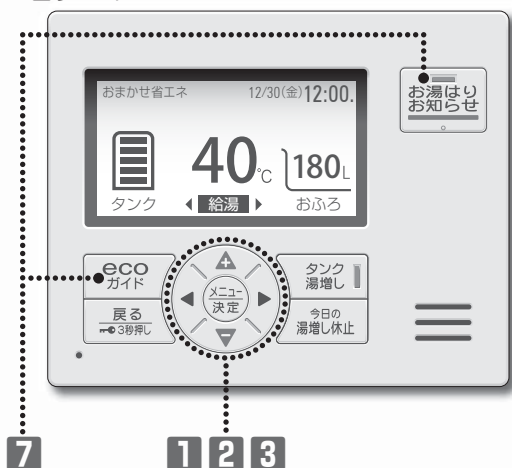
⚠ 警告

- 排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない
やけどの原因となります。
- 逃し弁操作時は、内部の配管に触れない
やけどの原因となります。
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

⚠ 注意

- 長期間使用しないときは、機器の水抜きを行う
長期間使用しないと水質が変化し、飲用すると健康を害する原因になることがあります。
- 冬期、漏電しゃ断器を「OFF」にする場合は、機器の水抜きを行う
満水のまま漏電しゃ断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。
- お手入れや点検の後には、漏電しゃ断器と逃し弁のカバーを閉じる
雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。

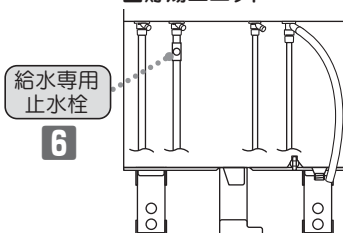
■リモコン



■湯水混合栓



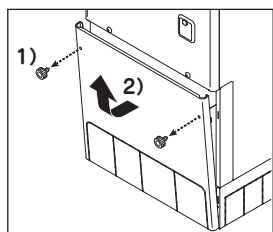
■貯湯ユニット



別売品の脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
(カバーの端面で手を切らないように注意してください。)

【はずし方】

- 1) カバーを止めているネジをはずす。
- 2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



1 を押して「タンク」を選び を押す。

- 「メインメニュー」で「タンク」を選びます。

2 で「休止設定」を選び を押す。

- 「タンクメニュー」で「休止設定」を選びます。

3 で「1日間休止」を選び を押す。

- 通常画面に「休止中（再開日：○／○）」が表示されます。

4 湯水混合栓の湯側を全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする。

- 貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないための必要な操作です。

5 お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる。

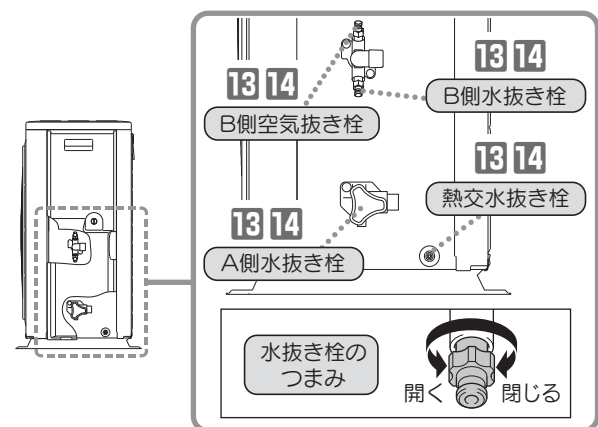
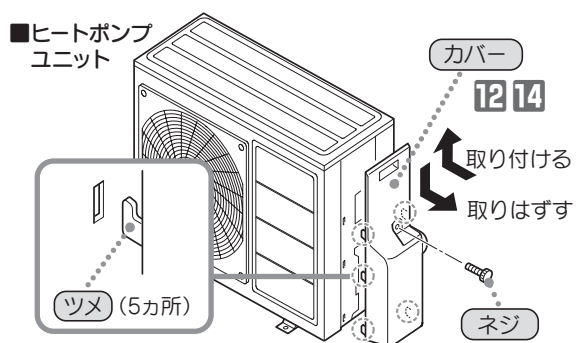
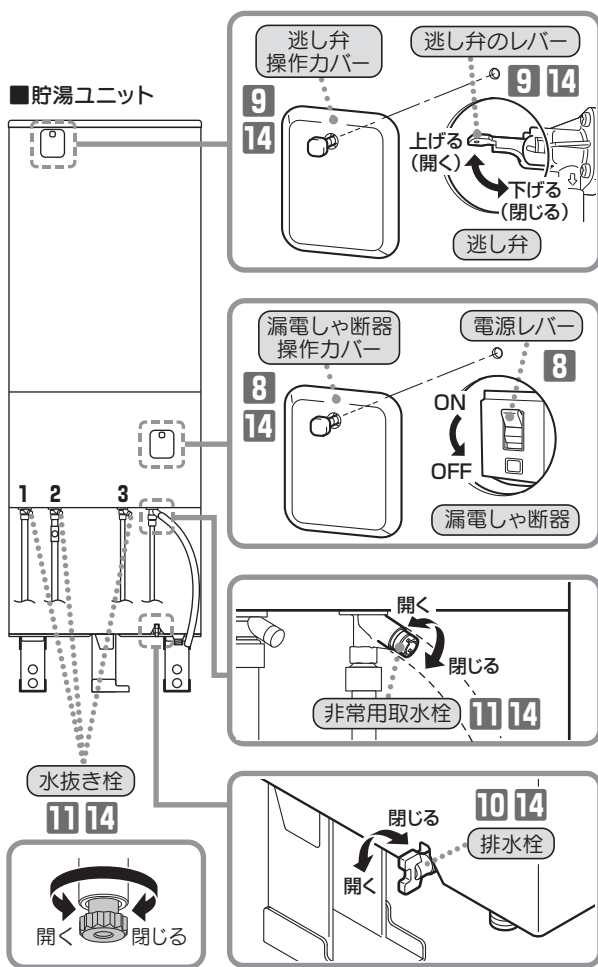
6 給水専用止水栓を閉じる。

7 と を同時に5秒以上長押しする。

- 「水抜き中」が表示されます。
(解除する場合は を押します。)

〈以下次ページに続く〉

長期間お湯を使用しないとき



8 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。

9 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

10 貯湯ユニットの排水栓を開く。

※排水が終わるまでに45～60分かかります。

11 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓 (3カ所) と非常用取水栓を開く。

(必要な場合はバケツ等で水を受けてください。)

12 ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ (5カ所) をはずしカバーを取りはずす。

●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

13 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、次にA側およびB側の水抜き栓を開いた後、B側空気抜き栓を開いて、各水抜き栓からの排水を確認する。

※排水が終わるまでに約20分かかります。

14 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げてすべての栓を閉じ、操作カバーおよびヒートポンプユニットのカバーを元どおりに戻す。

お願い

●凍結するおそれのある地域でご使用の場合は、お買い上げの販売店 (工事店) に連絡し、機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

お知らせ

●電源をOFFにした場合、過去のお湯の使用量がリセットされる場合があります。

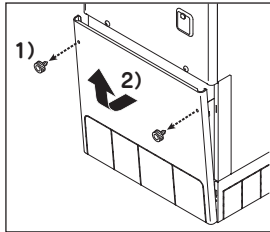
次にご使用になるとき(タンクに水がないとき)ー

- 貯湯ユニットを満水にしてヒートポンプユニットのエア抜きをした後、電源を入れます。

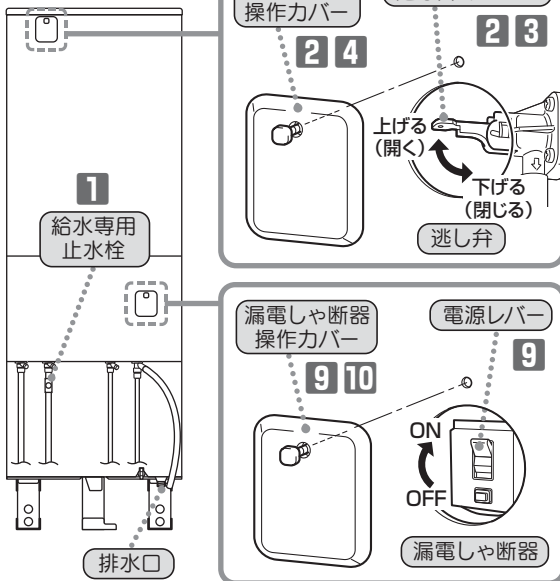
別売品の脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
(カバーの端面で手を切らないように注意してください。)

【はずし方】

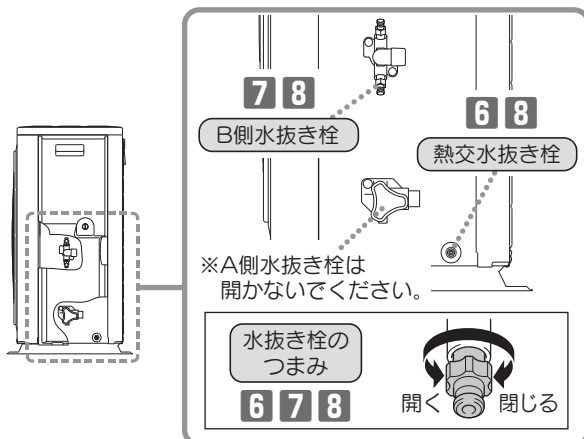
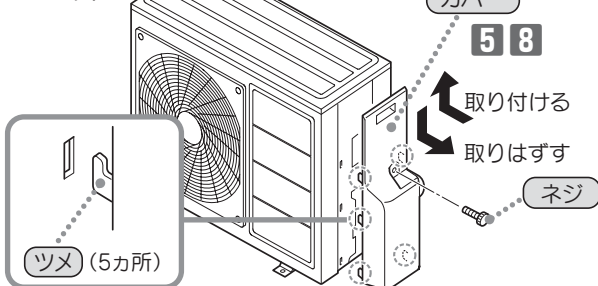
- 1) カバーを止めているネジをはずす。
- 2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



■貯湯ユニット



■ヒートポンプユニット



⚠ 警告

- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

お願い

- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットが満水になる前に、電源を入れないでください。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

貯湯ユニットを満水にする

- 1 給水専用止水栓を開く。
- 2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。
●約20分で貯湯ユニットが満水になります。
- 3 排水口から勢いよく水が出たら逃し弁のレバーを下げる。
- 4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

ヒートポンプユニットのエア抜きをする

- 5 カバーのネジをはずし、下へスライドさせてツメをはずしカバーを取りはずす。
●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。
- 6 熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする。
●2分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。
- 7 B側水抜き栓を開き、エア抜きをする。
(A側水抜き栓は開かないでください。)
●十分なエア抜きをおこなってください。
- 8 エア抜きが終わったら水抜き栓(熱交、B側)を閉じ、カバーを元どおりに取り付ける。

電源を入れる

- 9 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする。
●自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始し、リモコンに「HPエア抜き運転中」が表示されます。
●約10分でエア抜き運転が終了します。
- 10 漏電しゃ断器操作カバーを元どおりに取り付ける。
- 11 日時設定、給湯温度設定をする。
(→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」、「お湯・シャワーを使う」を参照)

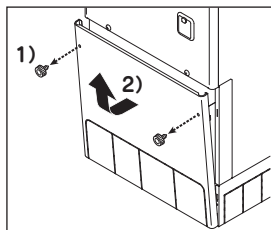
非常用取水栓の使い方

●地震などの災害時や断水時は、貯湯ユニットのお湯（水）を生活用水として使用することができます。

別売品の脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
(カバーの端面で手を切らないように注意してください。)

【はずし方】

- 1) カバーを止めているネジをはずす。
- 2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



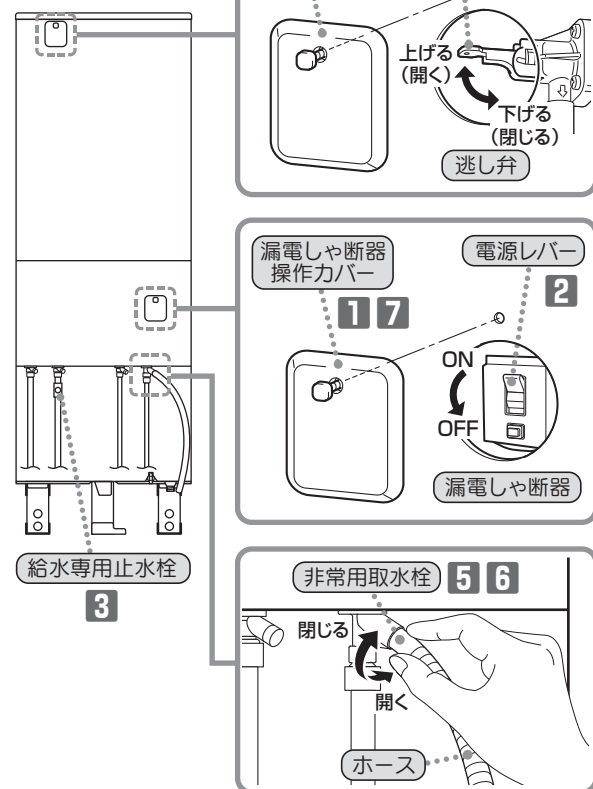
⚠ 警告

- 取水時は熱湯が出ることもあるので、お湯に触らないやけどの原因となります。
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない感電の原因となります。

お願い

- 飲用には用いないでください。
貯湯ユニットに滞留していた水のため、生活用水として使用してください。

■貯湯ユニット



※準備するもの…容器（やかん、バケツなど）

- 1 貯湯ユニットの操作カバー（逃し弁、漏電しゃ断器）をはずす。
- 2 漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。
- 3 給水専用止水栓を閉じる。
- 4 逃し弁のレバーを上げる。
- 5 非常用取水栓を開き、容器に水を受ける。
●ホースをつかみ、1回転～1回転半まわしてください。
それ以上まわすと、はずれるおそれがあります。
- 6 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる。
- 7 操作カバー（逃し弁、漏電しゃ断器）を元どおりに取り付け。

お願い

- 再びご使用になるときは「次にご使用になるとき」（→6ページ）の手順で作業をおこなってください。

停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき

停電したとき

- 停電があってもお客様の設定した「日時」などの設定は記憶しています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせてください。(→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」を参照)

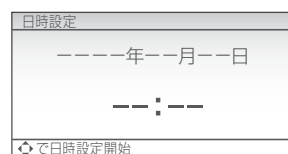
湯切れする場合があります。

- タンク湯増しをおこなうか、運転モードを「満タン(1週間)」に設定してください。
(→取扱説明書 操作編「お湯がたりないとき」「運転モードの変更」を参照)

リモコンの表示が「--:--」のとき

日時がリセットされています。

- 日時を合わせてください。
(→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」を参照)



長時間の停電となる場合

- 冬期は凍結して機器が破損することがあります。貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。(→4ページ)

断水・水道工事がおこなわれるとき

- 断水したときや、近くで水道工事がおこなわれるときは、貯湯ユニットの給水専用止水栓を閉じてください。
- 断水・水道工事が終了したら、湯水混合栓の水側を全開にして、水の汚れがなくなったことを確認してから、貯湯ユニットの給水専用止水栓を開いてください。
- 水の汚れがなくならないうちに給水専用止水栓を開くと、にごった水が貯湯ユニット内のストレーナを目詰まりさせ、お湯の出が悪くなったり、お湯がにごる原因になります。貯湯ユニット内ににごった水が入った場合は、水のにごりがなくなるまで貯湯ユニットの排水をしてください。(→9ページ)
- 断水・水道工事中は、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

貯湯ユニットのお手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

漏電しゃ断器・逃し弁の点検

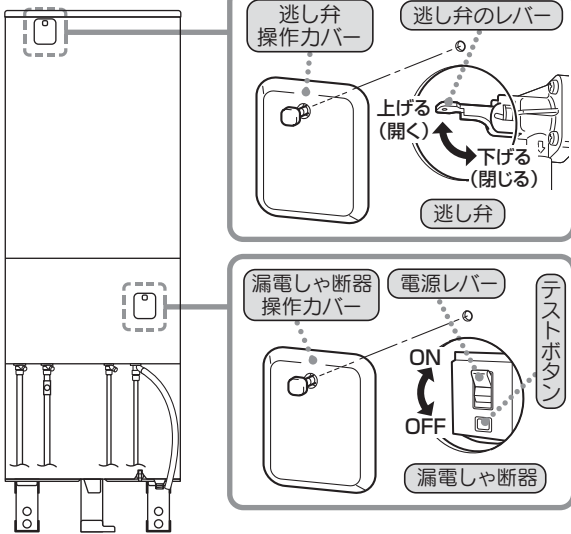
⚠ 警告

- 逃し弁操作時は、内部の配管に触れないやけどの原因となります。
- 漏電しゃ断器の動作を確認する
故障のまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

⚠ 注意

- 定期的に逃し弁の点検をする
正しく作動しないと、水漏れの原因になることがあります。
- お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のカバーを閉じる
雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。

■ 貯湯ユニット



■ 逃し弁の点検

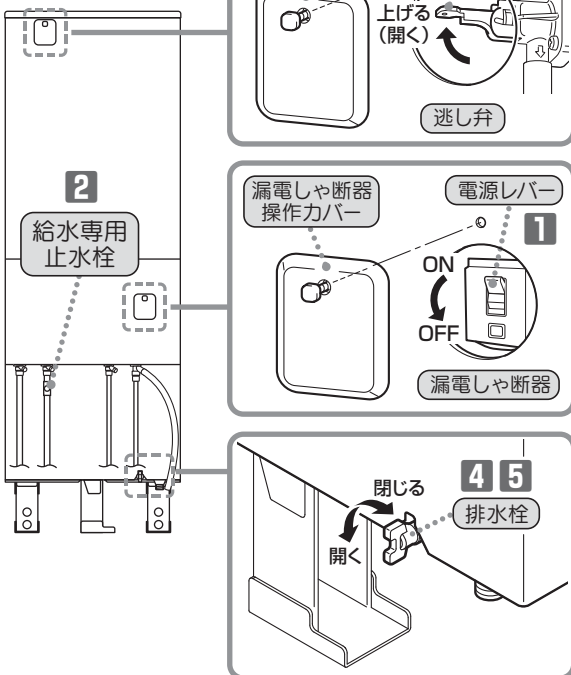
- 1 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを2～3回上下に動かす。
● 上げたときのみ、排水口から水(お湯)が出れば正常です。
※ヒートポンプユニットが湯増し運転をしていると、逃し弁のレバーを下げてもお湯が出る場合があります。
- 2 逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

■ 漏電しゃ断器の動作確認

- 1 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器のテストボタンを押す。
● 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
- 2 電源レバーを「ON」に戻し、漏電しゃ断器操作カバーを元どおりに取り付ける。

貯湯タンクのお手入れ

■ 貯湯ユニット



- 貯湯タンク内の汚れなどを排水してください。

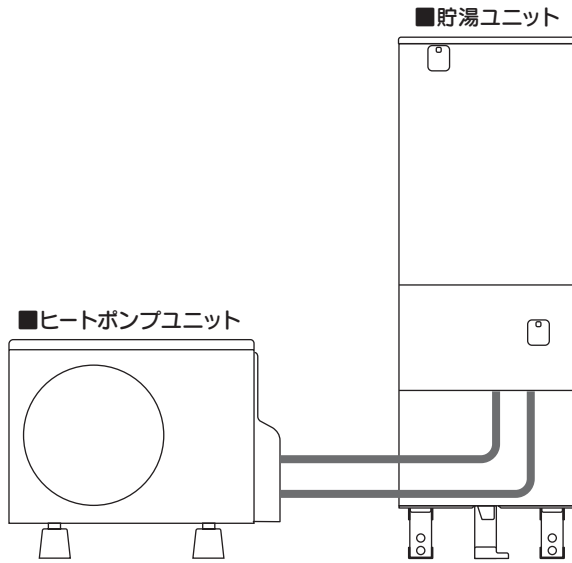
⚠ 警告

- 排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らないやけどの原因となります。
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

- 1 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。
- 2 給水専用止水栓を閉じる。
- 3 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。
- 4 排水栓を開く。
- 5 1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じる。
- 6 お手入れ完了後「次にご使用になるとき」の手順で作業をおこなう。(→6 ページ)

貯湯ユニットのお手入れと日常点検

外装材のお手入れ



■ 水拭きをする。

- 外装の汚れが気になるときは、水にぬらした柔らかい布で拭いてください。

お願い

- ベンジン・シンナー等は使用しないでください。

仕様

システム	形式	CHP-37NX1	CHP-46NX1
	タイプ	給湯専用	
	適用電力制度	時間常別電灯型、季節別時間常別電灯型（通電制御型）	
	相数 定格電圧 定格周波数	単相 200V 50/60Hz	
	最大電流	15A	16A
	沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃	
	年間給湯効率（JIS）※1※2	3.2	3.2
	区分名	19	
仕向地		次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南 ※3	

貯湯ユニット	形式	CTU-37NX1	CTU-46NX1
	種類	屋外形	
	タンク容量	370L	460L
	水側最高使用圧力	190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	1860mm×630mm×730mm	1850mm×700mm×795mm
	質量（製品質量／満水時質量）	56kg／426kg	65kg／525kg
	消費電力（制御用）	5W（リモコン消灯時 4W）	
	貯湯機能	おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン	
ヒートポンプ	ふろ給湯機能	お湯はりお知らせ	
	基準浴槽	有効水量 180L～220L（満水容積 340L 以下の浴槽）	

ヒートポンプユニット	形式	CHP-4513	CHP-6013
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	650mm×820mm[カバ一部+80mm]×300mm	
	質量	44kg	48kg
	中間期標準加熱能力／消費電力 ※4※5	4.5kW／1.025kW	6.0kW／1.365kW
	中間期標準運転電流 ※5	6.1A	7.3A
	中間期標準エネルギー消費効率	4.4	4.4
	夏期標準加熱能力／消費電力 ※4※6	4.5kW／0.900kW	4.5kW／0.900kW
	冬期高温加熱能力／消費電力 ※4※7※8	4.5kW／1.500kW	6.0kW／2.000kW
	ヒートポンプ運転音 ※9（中間期 ※5／冬期 ※7）	38dB／43dB	40dB／45dB
	冷媒名 及び 封入量	CO ₂ 0.620kg	CO ₂ 0.835kg
ヒートポンプ	設計圧力（高圧／低圧）	14.0MPa／8.5MPa	
	設置可能最低外気温度	－10℃	

- ※1 年間給湯効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。ふろ保温機能のないものは年間給湯効率(JIS)とし、以下の式で求められます。
 年間給湯効率(JIS) = 1 年間に使用する給湯に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量
 地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
- ※2 年間給湯効率(JIS) 算出時の条件
 着霜期高温加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 2℃／1℃、水温 5℃、沸上げ温度 90℃
 冬期給湯モード条件における沸上げ温度 65℃、着霜期給湯モード条件における沸上げ温度 65℃
 夜間消費電力量比率 (JIS C 9220:2011 冬期給湯モード条件時)：80%
- ※3 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など
- ※4 沸上げ終了直前までは加熱能力が低下する場合があります。
- ※5 中間期標準加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 16℃／12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃
- ※6 夏期標準加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 25℃／21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃
- ※7 冬期高温加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 7℃／6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃
- ※8 低外気温度時は加熱能力が低下する場合があります。
- ※9 運転音は、JIS C 9220:2011 に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。なお、運転音に関する注意事項については、“騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック” http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html をご参照ください。

●年間給湯効率（JRA）表

システム形式	CHP-37NX1	CHP-46NX1
年間給湯効率（JRA）※10	3.4	3.3

- ※10 年間給湯効率(JRA)は、一般社団法人 日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1 年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を 1 日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。

年間給湯効率(JRA) = 1 年で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量

仕様

システム	形式	CHP-37NX1JJ	CHP-46NX1JJ
	タイプ	給湯専用	
	適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）	
	相数 定格電圧 定格周波数	単相 200V 50/60Hz	
	最大電流	15A	16A
	沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃	
	年間給湯効率（JIS）※1※2	3.2	3.2
	区分名	19	
仕向地		次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南 ※3	

貯湯ユニット	形式	CTU-37NX1J	CTU-46NX1J
	種類	屋外形	
	タンク容量	370L	460L
	水側最高使用圧力	190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	1860mm×630mm×730mm	1850mm×700mm×795mm
	質量（製品質量／満水時質量）	56kg／426kg	65kg／525kg
	消費電力（制御用）	5W（リモコン消灯時 4W）	
	貯湯機能	おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン	
ツ	ふろ給湯機能	お湯はりお知らせ	
	基準浴槽	有効水量 180L～220L（満水容積 340L 以下の浴槽）	

ヒートポンプユニット	形式	CHP-4513J	CHP-6013J
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	650mm×820mm[カパ一部+80mm]×300mm	
	質量	49kg	51kg
	中間期標準加熱能力／消費電力 ※4※5	4.5kW／1.025kW	6.0kW／1.365kW
	中間期標準運転電流 ※5	6.1A	7.3A
	中間期標準エネルギー消費効率	4.4	4.4
	夏期標準加熱能力／消費電力 ※4※6	4.5kW／0.900kW	4.5kW／0.900kW
	冬期高温加熱能力／消費電力 ※4※7※8	4.5kW／1.500kW	6.0kW／2.000kW
	ヒートポンプ運転音 ※9（中間期 ※5／冬期 ※7）	38dB／43dB	40dB／45dB
	冷媒名 及び 封入量	CO ₂ 0.825kg	CO ₂ 0.700kg
設計圧力（高圧／低圧）		14.0MPa／8.5MPa	
設置可能最低外気温度		-10℃	

- ※1 年間給湯効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。ふろ保温機能のないものは年間給湯効率(JIS)とし、以下の式で求められます。
 年間給湯効率(JIS) = 1 年間で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量
 地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
- ※2 年間給湯効率(JIS) 算出時の条件
 着霜期高温加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 2℃／1℃、水温 5℃、沸上げ温度 90℃
 冬期給湯モード条件における沸上げ温度 65℃、着霜期給湯モード条件における沸上げ温度 65℃
 夜間消費電力量比率 (JIS C 9220:2011 冬期給湯モード条件時)：80%
- ※3 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など
- ※4 沸上げ終了直前までは加熱能力が低下する場合があります。
- ※5 中間期標準加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 16℃／12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃
- ※6 夏期標準加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 25℃／21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃
- ※7 冬期高温加熱条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 7℃／6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃
- ※8 低外気温度時は加熱能力が低下することがあります。
- ※9 運転音は、JIS C 9220:2011 に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。なお、運転音に関する注意事項については、“騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック” http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html をご参照ください。

●年間給湯効率（JRA）表

システム形式	CHP-37NX1JJ	CHP-46NX1JJ
年間給湯効率（JRA）※10	3.4	3.3

- ※10 年間給湯効率(JRA)は、一般社団法人 日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1 年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。
 ※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を 1 日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。
 年間給湯効率(JRA) = 1 年間で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量

定期点検（有料）

●自然冷媒 CO₂家庭用ヒートポンプ給湯機を長くお使いいただくために、3～4年に一度、定期点検（有料）をおこなってください。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、公益社団法人 日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。

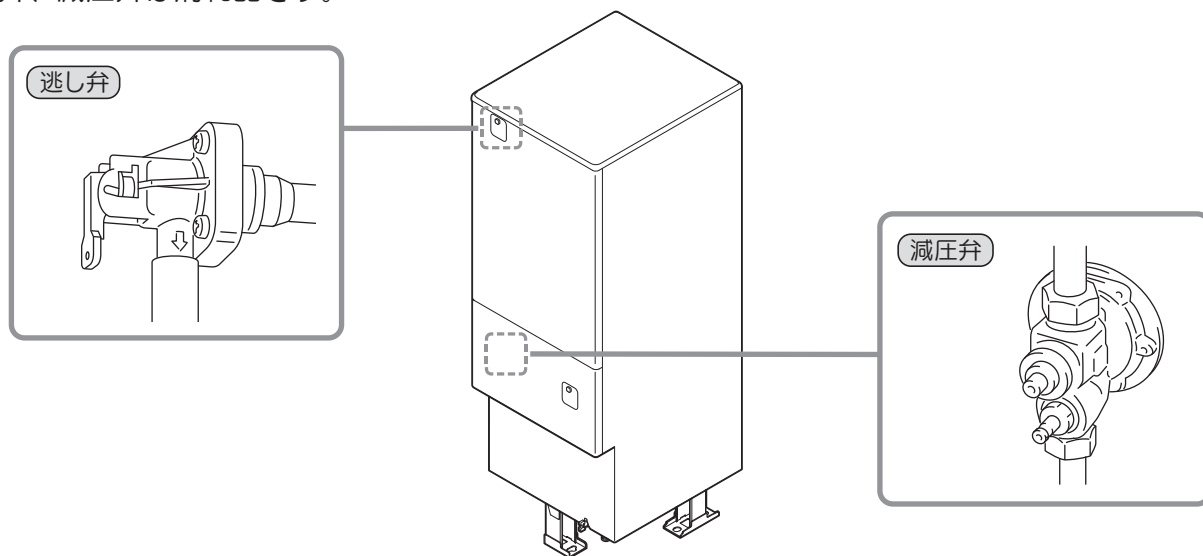
定期点検の主な内容

定期点検については、お買い上げの販売店（工事店）またはコロナお客様ご相談窓口へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項 目	内 容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。
清掃	貯湯ユニット内の清掃。（タンク内沈殿物の除去など）

消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁は消耗品です。



保証とアフターサービス

故障、修理については…

お買い上げの販売店(工事店)またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

- 工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯ユニットに添付されています。「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げいただいた日から2年間です。

ただし、コンプレッサー・熱交換器は3年間、缶体は5年間です。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

- 誤った使用方法による故障や事故。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
- 水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
- 凍結による故障・破損。
- 当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

コロナ延長保証システム(有料)について

エコキュートをより長く、安心してお使いいただくために、「5年・8年・10年各延長修理保証契約」制度を設けております。ご希望の場合、お申し込みは専用パンフレットにご記入ください。専用パンフレットは販売店、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

別冊の取扱説明書 操作編「故障かなと思ったら」にしたがって調べてもよくなりなときは、お買い上げの販売店(工事店)またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。保証期間中であれば、保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは…

お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有償にて修理させていただきます。

お客様ご相談窓口一覧表

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

受付時間 午前9時～午後7時(日曜、祝祭日は除く)

日(は除く)

北海道地区	札幌地区	札幌市東区南一条二丁目2-5	〒003-0028	TEL(011)864-0440(代表)	FAX(011)863-3154
	旭川地区	旭川市東旭川北一条二丁目3-23	〒003-0873	TEL(011)879-2121(代表)	FAX(011)871-2400
	釧路地区	釧路市花岡町4-17	〒078-8261	TEL(0166)39-7733(代表)	FAX(0166)37-2338
	帯広地区	帯広市西一条北二丁目17-1	〒078-8251	TEL(0166)39-7733(代表)	FAX(0166)39-7744
	函館地区	函館市西栢梗町21-2	〒080-0048	TEL(0157)36-9009(代表)	FAX(0157)36-5959
北東北地区	青森地区	青森市古館一丁目12-38	〒085-0038	TEL(0154)24-4191(代表)	FAX(0154)24-0451
	八戸地区	八戸市赤木四丁目4-7	〒085-0043	TEL(0154)32-0666(代表)	FAX(0154)32-0366
	弘前地区	弘前市田園一丁目1-21	〒080-0048	TEL(0155)35-7518(代表)	FAX(0155)35-7510
	盛岡地区	盛岡市水沢水沢工業団地4丁目79	〒080-0020	TEL(0155)28-3040(代表)	FAX(0155)28-3044
	秋田地区	秋田市泉中央四丁目4-18	〒041-0824	TEL(0138)48-6070(代表)	FAX(0138)48-6080
南東北地区	仙台地区	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒041-0824	TEL(0138)48-0133(代表)	FAX(0138)48-0081
	山形地区	山形市東青田三丁目6-28	〒030-0946	TEL(017)742-8255(代表)	FAX(017)742-8275
	庄内地区	酒田市錦町一丁目183-1	〒030-0946	TEL(017)743-2971(代表)	FAX(017)743-1118
	南東北地区	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒031-0073	TEL(0178)24-5289(代表)	FAX(0178)45-4290
	南東北地区	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒031-0073	TEL(0178)47-6609(代表)	FAX(0178)71-1344
関東地区	北水戸地区	水戸市笠原町653-2	〒036-8086	TEL(0172)28-3910(代表)	FAX(0172)28-0191
	宇都宮地区	宇都宮市築瀬町2313	〒036-8086	TEL(0172)26-4770(代表)	FAX(0172)29-1133
	高崎地区	高崎市高林東町2375	〒020-0823	TEL(019)622-4791(代表)	FAX(019)622-5244
	前橋地区	前橋市間屋町西三丁目2-22	〒023-0002	TEL(019)722-4155(代表)	FAX(019)722-4452
	東京地区	東京都中央区豊島8-4-8	〒020-0823	TEL(019)604-0281(代表)	FAX(019)604-0283
信越地区	新潟地区	新潟市中央区江南一丁目6-41	〒010-0917	TEL(018)864-5671(代表)	FAX(018)864-8468
	長野地区	長野市大島五三二	〒010-0802	TEL(018)864-5671(代表)	FAX(018)864-5760
	松本地区	松本市笹賀大久保原7852	〒983-0035	TEL(022)235-3181(代表)	FAX(022)236-8810
	信越地区	三田市東新保一〇-26	〒990-2423	TEL(023)642-3255(代表)	FAX(023)642-3254
	信越地区	三田市東新保一〇-26	〒998-0103	TEL(023)431-0571(代表)	FAX(023)431-0581
北陸地区	金沢地区	金沢市駅西新町一・一・25	〒963-8033	TEL(024)938-2240(代表)	FAX(024)938-3021
	富山地区	富山市田中二・三・15	〒983-0035	TEL(022)783-1791(代表)	FAX(022)783-1792
	福井地区	福井市和田東一・607	〒331-0812	TEL(048)651-1722(代表)	FAX(048)651-6370
	北陸地区	金沢市駅西新町一・一・25	〒310-0852	TEL(029)241-2172(代表)	FAX(029)241-4268
	北陸地区	金沢市駅西新町一・一・25	〒305-0861	TEL(029)839-5325(代表)	FAX(029)836-1913
東海地区	名古屋地区	名古屋市熱田区高松二・一五・30	〒321-0933	TEL(028)632-5105(代表)	FAX(028)632-5205
	岐阜地区	岐阜市西椎路八八八・一	〒373-0825	TEL(027)38-6571(代表)	FAX(027)38-5508
	静岡地区	津市高茶屋三・二九・38	〒370-0007	TEL(027)361-4806(代表)	FAX(027)361-9139
	東海地区	名古屋市熱田区桜田町一六・一一	〒114-0003	TEL(03)3927-1151(代表)	FAX(03)3927-1160
	東海地区	名古屋市熱田区桜田町一六・一一	〒190-0011	TEL(042)519-5271(代表)	FAX(042)528-2382
近畿・四国地区	大阪地区	吹田市南金田一・八・47	〒270-2222	TEL(047)312-8330(代表)	FAX(047)312-8338
	京都地区	京都市伏見区竹田段川原町二一一	〒251-0875	TEL(046)690-5567(代表)	FAX(046)690-5568
	福知山地区	福知山市西荒河東町六八	〒409-3866	TEL(055)268-1567(代表)	FAX(055)268-1569
	神戸地区	神戸市今里町一・八・5	〒114-0003	TEL(03)3911-1131(代表)	FAX(03)3927-1130
	松山地区	松山市西垣生町七八〇・三	〒955-0864	TEL(0256)32-2126(代表)	FAX(0256)35-8519
中国地区	広島地区	広島市安佐南区祇園三・二七・20	〒950-0855	TEL(025)286-9131(代表)	FAX(025)286-3313
	岡山地区	岡山市北区辰巳三五・一〇三	〒381-0022	TEL(026)221-5111(代表)	FAX(026)221-0039
	岡山地区	岡崎市徳山字ノ井手五六三一・四	〒399-0033	TEL(0263)26-0051(代表)	FAX(026)325-9961
	中国地区	広島市安佐南区祇園三・二七・20	〒955-0863	TEL(0256)32-2129(代表)	FAX(0256)32-2137
	中国地区	広島市安佐南区祇園三・二七・20	〒731-0138	TEL(0256)32-2129(代表)	FAX(0256)32-2137
九州地区	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒731-0138	TEL(082)871-3310(代表)	FAX(082)871-3306
	北九州地区	北九州市小倉北区愛宕二・六・4	〒683-0035	TEL(0859)33-8157(代表)	FAX(0859)23-0709
	長崎地区	長崎県西彼杵郡時津町左尾郷浜田七四・一	〒700-0976	TEL(086)243-7751(代表)	FAX(086)243-7191
	熊本地区	熊本市東区尾ノ上・一・一一・一二	〒745-0882	TEL(083)22-5567(代表)	FAX(083)22-5589
	宮崎地区	宮崎市霧島三・五九・2	〒870-0108	TEL(082)871-3315(代表)	FAX(082)871-0272
九州地区	大分地区	大分市三佐一・一・九・7	〒880-0032	TEL(098)59-1680(代表)	FAX(098)59-1685
	鹿儿岛地区	鹿児島市田上七・一六・5	〒890-0034	TEL(099)281-1321(代表)	FAX(099)281-1252
	九州地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(092)474-5771(代表)	FAX(092)474-5775
	九州地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(093)592-8611(代表)	FAX(093)592-8666
	九州地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(095)882-7710(代表)	FAX(095)882-7767
九州地区	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(096)367-7361(代表)	FAX(096)369-6323
	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(097)523-5161(代表)	FAX(097)523-5162
	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(098)59-1680(代表)	FAX(098)59-1685
	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(099)281-1321(代表)	FAX(099)281-1252
	福岡地区	福岡市博多区東比恵二・二・40	〒812-0007	TEL(092)474-6001(代表)	FAX(092)474-6414
沖縄地区	沖縄地区	宜野湾市宇地坊738	〒901-2227	TEL(098)897-5677(代表)	FAX(098)897-5679
	沖縄地区	シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897-5677(代表)	FAX(098)897-5679

ホームページ <http://www.corona.co.jp/>

愛情点検 長年ご使用のエコキュートの点検を！			
	こんな 症状は ありませんか	●漏電しゃ断器が自動的に「OFF」になる。 ●コゲくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。 ●熱いお湯が出続ける。 ●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●本体、配管から水が漏れる。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用 中 止
		故障や事故防止のため、電源ブレーキを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。	